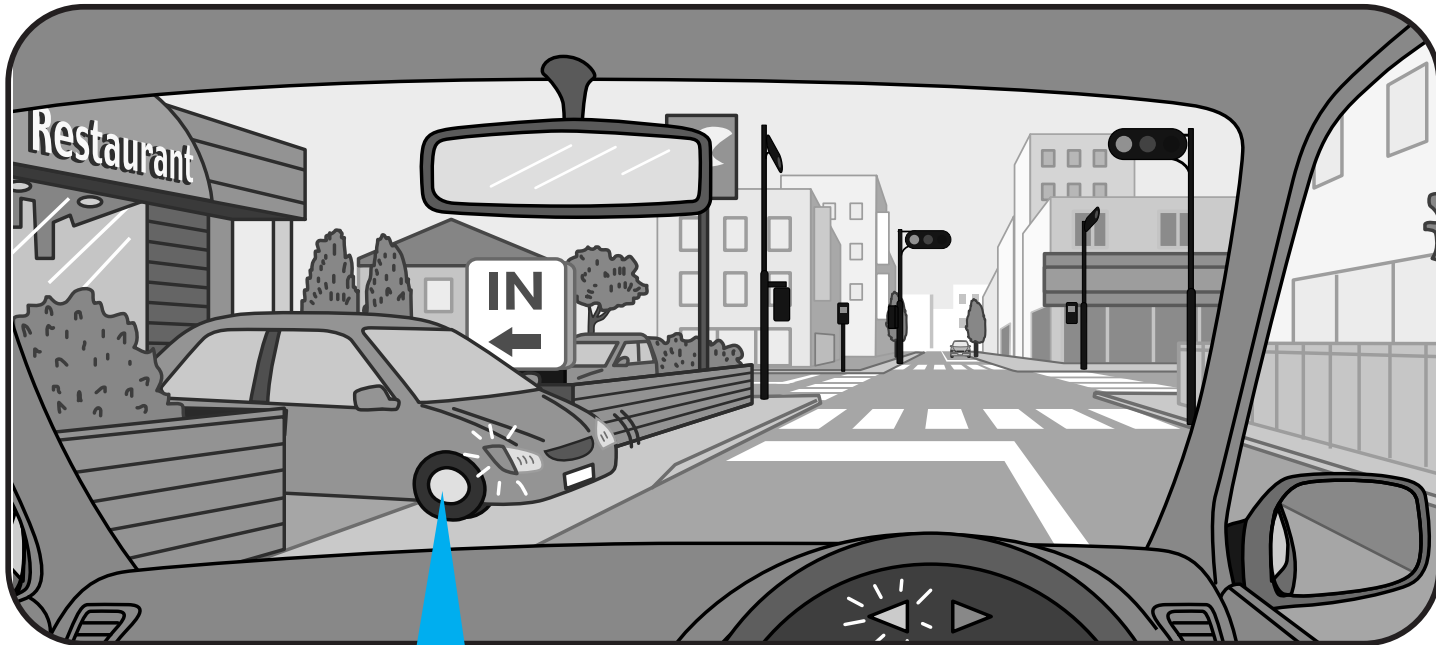


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第15回 合図の誤解

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、他車の行動を考えてもらうためのKYTです。



あなたは先にある信号交差点を左折するために左のウインカーを出しました。
左側にあるレストランから右のウインカーを点滅させたクルマが出ようとしています。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

活用方法

- ① 少人数のグループをつくりま
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すればいいか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト（カラー・A4版）」は下記SJ-Netでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード（無料）できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業（株）安全運転普及本部
TEL：03（5412）1736
E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

©本田技研工業（株）

SJクイズ ?

Q1 交通事故は「認知（見る）」→「判断」→「操作」の中のミスで起きますが、どの過程でのミスが一番多いでしょうか？

- ① 認知
- ② 判断
- ③ 操作



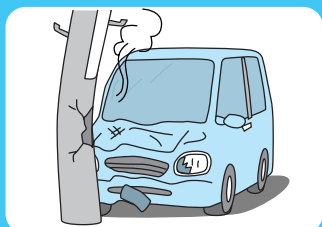
Q2 平成21年中の原付以上運転者*による死亡事故（4395件）を年齢層別にみた場合、最も多いのは高齢者（65歳以上）ですが、2番目に多い年齢層は次のうちどれ？

- ① 16～24歳
- ② 30～39歳
- ③ 40～49歳
- ④ 50～59歳

*第1当事者

Q3 平成21年中の自家用軽乗用車（軽自動車）による交通事故は10年前（平成11年）の約何倍に増えていますでしょうか？

- ① 約1.5倍
- ② 約2倍
- ③ 約2.5倍
- ④ 約3倍



※「解答」は7面下。「解説」は下記SJ-Netでご覧いただけます。

ホンダ SJ

検索

©本田技研工業（株）

交通安全指導

知得情報

このコーナーでは、交通安全指導に関わっている方々に役立つ情報を提供しています。

交通安全指導における効果的な話し方 第2回

藤原徳子（株）ビジネスファーム 代表取締役

平成19～21年度の内閣府主催「交通安全指導者養成講座」で講師を務めるなど、コンサルティング会社でのキャリアを活かし、自治体や企業向けの研修や講演会等で活躍。

言葉はたいへん重要なものなので、自分の中で熟考してから話すことが大切です。熟考せずに発した言葉は、時として凶器になることを頭に入れておく必要があります。人は言葉によって、励まされたり、やる気を出したり、言葉で支えられています。指導者は言葉の1つ1つに注意を払ってください。

効果的なメッセージの伝え方

- ① 最初に目的を話す
今日の主題、講習の流れなど、全体像を告げる。
- ② 共通言語を用いる
双方に通じる言葉を用いる。例えば子ども向けの指導の場面で、子どもがお母さんのことを「ママ」と言っていたら、お母さんのことを示す時は「ママ」という単語を使う。
- ③ 筋道を立てて話す
「まず」「次に」「最後に」「以上」と順序立てて話す。「最後に」を繰り返さないように注意する。
- ④ 短文で話す
活字に置き換えた時に「。」が多く出てきたほうが、相手に自分の意思が伝わりやすい。

話をする時の注意点

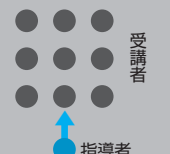
- 話す時の声の高さは「ドレミ」の音階で「ソ」を意識すると、相手に明るい印象を与えることができます。語尾は必ず上げるように心がけましょう。感謝する時はもちろん、お詫びをする時も、語尾を上げたほうが、誠意が伝わりやすいのです。
- 「私的には」「僕的には」と「的」をつけることは自信のなさの表れで、相手にも良い印象を与えません。私見を述べる場合には、「私は〇〇だと思います」という言い方をしましょう。

● 最近の子どもや若者に「ちゃんとしなさい」と言っても、相手はどうしていいかわかりません。ちゃんとすべきことは何か、具体的な行動を指してあげましょう。そのためには、相手にやってほしいことを頭の中で活字に置き換える訓練をしておくことが重要です。

参加者の能力と意欲に合わせた指導スタイル

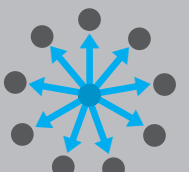
〈教示的スタイル〉

能力 低
意欲 低
参加者の学ぶ意欲を高めるために、必要な能力（知識、技能、経験）を教えていく状態。



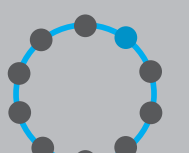
〈説得的スタイル〉

能力 低
意欲 高
参加者が少しずつ能力を身につけ、学ぶことに対する意欲を持った状態。ただし、能力は未熟なので、個別に指示していく必要がある。



〈参加的スタイル〉

能力 高
意欲 低
自力で課題に取り組む（一人立ちすること）に不安をおぼえている状態。指導者が参加者の輪の中に入り、手助けを行う。



〈委任的スタイル〉

能力 高
意欲 高
参加者が能力と意欲を備え、自律した状態。指導者は課題を与えて見守り、結果に対して評価する（ねぎらう）。

